

令和元年度事業評価 課別評価シート

【保健衛生部 保健サービスセンター】

目 次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【子育て支援】分野の事業の評価	P. 3
3 【障害者福祉】分野の事業の評価	P. 5
4 【健康づくり】分野の事業の評価	P. 6

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業
子04-11	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)
子04-12	母親・両親学級の実施
子04-13	文京区版ネウボラ事業
障福01-07	精神障害回復途上者デイケア事業
健01-03	生活習慣改善の支援

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】	
拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの	現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの	縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの	終了済 → 昨年度までに終了した事業

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業		子育て支援(B)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	乳幼児健診時スクリーニング	回	144	144		288	432
	事業費(千円)		3,727	3,770			
		行政コスト(千円)	11,945			進捗の課題	無
		所要人員	1,328	1,116			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子04-11	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)		子育て支援(C)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	乳児家庭全戸訪問事業実施率	%	89	88			88
	事業費(千円)		9,435	9,420			
		行政コスト(千円)	31,350			進捗の課題	無
		所要人員	3,580	2,999			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子04-12	母親・両親学級の実施		子育て支援(A)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	母親学級(平日・土曜日)の実施	回	26	26		52	78
	両親学級の実施	回	24	24		48	72
		事業費(千円)	5,595	5,793			
		行政コスト(千円)	15,214			進捗の課題	無
		所要人員	1,615	1,285			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子04-13	文京区版ネウボラ事業		子育て支援(A)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	ネウボラ面接(妊婦全数面接)	件	2,130	2,154		4,284	6,189
	宿泊型ショートステイ事業	日	420	649		1,069	1,764
		事業費(千円)	45,273	49,606			
		行政コスト(千円)	47,537			進捗の課題	無
		所要人員	2,259	2,504			
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名		中間アウトカム		
障福01-07		精神障害回復途上者デイケア事業		障害者福祉(A)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	デイケア事業参加者	延人数	1,212	943	2,155	4,500
	事業費(千円)		4,227	4,196		
	行政コスト(千円)		18,115			進捗の課題
	所要人員		2,320	2,021		無
進捗の課題と改善策						

事業番号		事業名		中間アウトカム		
健01-03		生活習慣改善の支援		健康づくり(A)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度	%	93	91		85
	ウォーキング教室	人	478	466	944	1,500
	事業費(千円)		4,127	3,832		
	行政コスト(千円)		-	-		進捗の課題
所要人員		1,626	1,536		無	
進捗の課題と改善策						

2 【子育て支援】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム (A)

妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子04-12	母親・両親学級の実施	保健サービスセンター	妊婦やそのパートナーが、妊娠・出産・子育ての知識を深めている	改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するためには、妊婦やそのパートナーが適切な時期に妊娠・出産・子育てに関する知識を得られる機会を提供する必要があります。就業している女性(妊婦)にもできるだけ身体に負担をかけない方向で受講の機会を提供できるよう検討していきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	定期的に教室を開催し、出産予定日によって影響を受けないようにしました。			
子04-13	文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	妊娠期からの不安や悩みを軽減するためには、妊娠早期から保健師等が妊婦やそのパートナーと顔の見える関係づくりをし、必要な情報提供・助言、及び、サービス利用のための連絡調整をしていくことが有効です。そのため、全ての妊婦と面談が行えるよう事業の周知に努めます。また、産後安心して子育てをするためには、回復が必要な時期に適切に休息をとれることが必要です。支援を要する家庭がタイムリーに産後ケアを利用することができるよう関係機関との連携強化に努めます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	専門職との面接を促す目的で、地域活動センターに育児パッケージ見本写真を使用した面接勧奨を依頼しました。分娩数の多い6医療機関にネウボラ事業の説明を行うとともに、各医療機関の取り組みを聞き、連携強化に努めました。			
子04-08	特定不妊治療への支援	健康推進課	不妊治療に関する主体的な受診行動が促されている		
子04-09	ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト	健康推進課	妊娠・出産等に関する正しい知識のもと、区民が主体的に健康維持・増進に取り組んでいる		
子04-10	妊婦健康診査	健康推進課	母体や胎児の健康が守られている		

中間アウトカム (B)

子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業	保健サービスセンター	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている	現状維持	現状維持
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	児童虐待が防止されている		
子01-02	児童虐待防止対策事業	子ども家庭支援センター	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている		
子01-03	児童相談所設置に向けた検討	子ども家庭支援センター	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される		
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている		
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・教育総務課・学務課)	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている		
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている		

中間アウトカム (C)

子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子04-11	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サービスセンター	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている	現状維持	現状維持
子04-13	文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	現状維持	現状維持
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている		
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子02-02	家庭教育支援の推進	教育総務課	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている		
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課、児童青少年課)	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-02	子育て情報提供事業	子育て支援課	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子08-01	母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している		
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・教育総務課・学務課)	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している		

3 【障害者福祉】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

中間アウトカム (A) 障害者が、自立した生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
障福01-07	精神障害回復途上者デイケア事業	保健サービスセンター	精神障害者の社会復帰が図られている	現状維持	現状維持
障福01-01	日中活動系サービス施設の整備	福祉政策課	障害者の就労支援や創作活動の場が確保されている		
障福01-02	障害者地域自立支援協議会の運営	障害福祉課	障害者の実情を的確に捉えた事業構築が図られている		
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている		
障福01-05	地域生活支援拠点等の整備	障害福祉課	障害者の包括的な居住支援体制が構築されている		
障福01-06	難病患者等への支援	予防対策課 (保健サービスセンター)	難病患者やその家族の経済的負担が軽減するとともに、生活の質が向上している		
障福02-01	グループホームの整備	福祉政策課 (予防対策課)	住み慣れた地域で自立した生活を送るための施設整備が進んでいる		
障福02-02	福祉作業所の大規模改修	福祉政策課 (障害福祉課)	安心して施設を利用することができる		
障福02-03	精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化	予防対策課	精神障害者が地域で安心かつ安定した生活を送っている		
障福03-01	障害者就労支援事業の充実	障害福祉課	地域での自立した職業生活・社会生活が定着している		

4 【健康づくり】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	2-4 健康づくり
将来像	だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまち

中間アウトカム (A)

区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
健01-03	生活習慣改善の支援	保健サービスセンター	生活習慣が改善し、生活習慣病が予防されている	改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度は高く、主体的に健康的な生活習慣を取り入れるための動機づけとして効果があるものと考えます。今後は子育て中の保護者を対象としたプログラムや、対象・テーマに変化をつけたプログラムの実施により青壮年期に向けた働きかけを行っていきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	運動教室の対象を子育て世代の保護者向けプログラムに広げました。			
健01-01	食育普及	健康推進課	健全な食生活を送っている		
健01-02	健康診査・保健指導	健康推進課(国保年金課)	健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分